

感染予防医学講座

Clinical Infectious Diseases

| | | |
|------|-------|--------------------|
| 教授 | 山本 善裕 | Yoshihiro Yamamoto |
| 准教授 | 酒巻 一平 | Ippei Sakamaki |
| 助教 | 東 祥嗣 | Yoshitsugu Higashi |
| 診療助手 | 上野 亨敏 | Akitoshi Ueno |
| 診療助手 | 川筋 仁史 | Hitoshi Kawasuji |
| 診療助手 | 宮嶋 友希 | Yuki Miyajima |

◆ 著 書

- 1) 山本善裕. 今日の治療指針2019. 福井次矢, 高木 誠, 小室一成総編集. 東京. 医学書院. 2019. ポレリア感染症(回帰熱, ライム病); p. 183-4.
- 2) 東 祥嗣, 山本善裕. 臨床呼吸器感染症学. 迎 寛編集. 東京. 南江堂. 2019. 非結核性抗酸菌症; p. 237-44.
- 3) 上野亨敏, 山本善裕. 呼吸器疾患最新の治療2019-2020. 門田淳一, 弦間昭彦, 西岡安彦編集. 東京. 南江堂. 2019. オウム病; p. 222-4.
- 4) 山本善裕. 看護学テキストNiCE 病態・治療論[10]感染症/アレルギー/膠原病. 竹末芳生, 一木 薫, 佐野 統, 東 直人編集. 東京. 南江堂. 2019. 呼吸器感染症; p. 74-8.
- 5) 川筋仁史, 山本善裕. 内科学書 改訂第9版. 南学正臣総編集. 東京. 中山書店. 2019. 百日咳; p. 73.
- 6) 宮嶋友希, 山本善裕. 内科学書 改訂第9版. 南学正臣総編集. 東京. 中山書店. 2019. レジオネラ症; p. 74.

◆ 原 著

- 1) Yanagihara K, Matsumoto T, Aoki N, Sato J, Wakamura T, Kiyota H, Tateda K, Hanaki H, Ohsaki Y, Fujiuchi S, Takahashi M, Akiba Y, Masunaga S, Takeuchi K, Takeda H, Miki M, Kumagai T, Takahashi H, Utagawa M, Nishiya H, Kawakami S, Ishigaki S, Kobayashi N, Takasaki J, Mezaki K, Iwata S, Katouno Y, Inose R, Niki Y, Kawana A, Fujikura Y, Kudo M, Hirano T, Yamamoto M, Miyazawa N, Tsukada H, Aso S, Yamamoto Y, Iinuma Y, Mikamo H, Yamagishi Y, Nakamura A, Ohashi M, Kawabata A, Sugaki Y, Seki M, Hamaguchi S, Toyokawa M, Kakeya H, Fujikawa Y, Mitsuno N, Ukimura A, Miyara T, Hayasi M, Mikasa K, Kasahara K, Koizumi A, Korohashi N, Matumoto T, Yosimura Y, Katanami Y, Takesue Y, Wada Y, Sugimoto K, Yamamoto T, Kuwabara M, Doi M, Simizu S, Tokuyasu H, Hino S, Negayama K, Mukae H, Kawanami T, Yatera K, Fujita M, Kadota J, Hiramatsu K, Aoki Y, Magarifuchi H, Oho M, Morinaga Y, Suga M, Muranaka H, Fujita J, Higa F, Tateyama M. Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for clinical microbiology in 2014: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility. *J Infect Chemother.* 2019 Jun 10; pii: S1341-321X(18)30334-9. doi: 10.1016/j.jiac.2019.05.006.
- 2) Okazaki F, Tsuji Y, Seto Y, Ogami C, Yamamoto Y, To H. Effects of a rifampicin pre-treatment on linezolid pharmacokinetics. *PLoS One.* 2019 Sep 13; 14(9): e0214037. doi: 10.1371/journal.pone.0214037.
- 3) Miyazaki T, Yanagihara K, Kakeya H, Izumikawa K, Mukae H, Shindo Y, Yamamoto Y, Tateda K, Tomono K, Ishida T, Hasegawa Y, Niki Y, Watanabe A, Soma K, Kohno S. Daily practice and prognostic factors for pneumonia caused by methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* in Japan. A multicenter prospective observational cohort study. *J Infect Chemother.* 2019 Sep 28; pii: S1341-321X(19)30268-5. doi: 10.1016/j.jiac.2019.08.018.
- 4) Tsukada H, Tsuji Y, Yamashina T, Tsuruta M, Hiraki Y, Tsuruyama M, Ogami C, Kawasuji H, Sakamaki I, Yamamoto Y. Pharmacokinetics and pharmacodynamics of daptomycin in a clinical setting. *J Infect Chemother.* 2019 Nov 14; pii: S1341-321X(19)30266-1. doi: 10.1016/j.jiac.2019.08.017.
- 5) Ogami C, Tsuji Y, To H, Yamamoto Y. Pharmacokinetics, toxicity and clinical efficacy of linezolid in Japanese pediatric patients. *J Infect Chemother.* 2019 Dec 25; 12: 979-86.

◆ 症例報告

- 1) Tamura K, Kawasuji H, Tachi S, Kawasaki Y, Nagaoka M, Makimoto M, Sakamaki I, Yamamoto Y, Kanatani J, Isobe J,

Mitarai S, Yoneda N, Yoneda S, Saito S, Yoshida T. Congenital tuberculosis in an extremely preterm infant and prevention of nosocomial infection. *J Infect Chemother*. 2019 May 22; pii: S1341-321X(19)30068-6-. doi: 10.1016/j.jiac.2019.03.003.

- 2) Kawasuji H, Kaya H, Kawamura T, Ueno A, Miyajima Y, Tsuda T, Taniguchi H, Nakamura M, Wada A, Sakamaki I, Niimi H, Yamamoto Y. Bacteremia caused by *Slackia exigua*: A report of two cases and literature review. *J Infect Chemother*. 2019 Jul 9; pii: S1341-321X(19)30179-5-. doi: 10.1016/j.jiac.2019.06.006.
- 3) Sakamaki I, Ueno A, Kawasuji H, Miyajima Y, Kawago K, Hishikawa Y, Ikehata Y, Fujiuchi Y, Kitamura H, Yamamoto Y. Prostate abscess caused by *Nocardia farcinica*. *IDCases*. 2019 Sep 9; e00640. doi: 10.1016/j.idcr.2019.e00640.
- 4) Iwanaga N, Yamamoto K, Takazono T, Saijo T, Imamura Y, Miyazaki T, Izumikawa K, Yamamoto Y, Yanagihara K, Yasuoka A, Mukae H. Munchausen syndrome mimicking refractory subcutaneous abscess with bacteremia, diagnosed by repetitive element sequence-based polymerase chain reaction. *J Med Case Rep*. 2019 Sep 12; 13(1): 287. doi: 10.1186/s13256-019-2212-7.

◆ 総説

- 1) 川村隆之, 山本善裕. ウイルス感染後の二次性の下気道感染. *内科*. 2019 Jan; 123(1): 61-66.
- 2) 尾上知佳, 辻 泰弘, 山本善裕. ダプトマイシンの治療薬物モニタリング(TDM)の必要性. *日化療会誌*. 2019 Mar; 67(2): 149-54.
- 3) 川村隆之, 山本善裕. 整形外科医が知っておきたい薬の知識 -私はこう使う- 「抗菌薬」. *MB Orthop*. 2019 May; 32(5): 469-78.
- 4) 川筋仁史, 山本善裕. 生物学的製剤と感染症. *日内会誌*. 2019 Nov; 108(11): 2251-8.

◆ 学会報告

- 1) 宮嶋友希, 川村隆之, 上野亨敏, 川筋仁史, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. 当院におけるAntifungal stewardshipの取り組み. *日本医真菌学会東海・北陸支部 第4回深在性真菌症部会*; 2019 Jan 26; 福井.
- 2) 山本善裕. 「技師と医師の連携:微生物検査“医師”を探せ」私たちの取り組み“富山”:アクティブ・コンサルテーション. 第30回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 2019 Feb 1-3; 東京. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 3) 杉江和茂, 関口敬文, 森田未香, 坂本純子, 上野智浩, 酒巻一平, 山本善裕, 仁井見英樹, 北島 勲. MRSAアウトブレイク発生時の院内感染対策にPOT法が有効であった事例. 第30回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 2019 Feb 1-3; 東京.
- 4) 村上亜也香, 波川満喜, 青木雅子, 山本善裕. 小規模病院におけるCRE患者の受け入れを経験して. 第34回日本環境感染学会総会・学術集会; 2019 Feb 22-23; 神戸.
- 5) 青木雅子, 川筋仁史, 上野亨敏, 宮嶋友希, 酒巻一平, 山本善裕. 先天性結核発症に対するNICUでの感染対策を経験して. 第34回日本環境感染学会総会・学術集会; 2019 Feb 22-23; 神戸.
- 6) 賀来敬仁, 森永芳智, 大曲貴夫, 泉川公一, 山本善裕, 三嶋廣繁, 賀来満夫, 大石和徳, 柳原克紀. 日本でのESBL産生菌およびCREの現状. 第34回日本環境感染学会総会・学術集会; 2019 Feb 22-23; 神戸.
- 7) 泉川公一, 賀来敬仁, 森永芳智, 大曲貴夫, 山本善裕, 三嶋廣繁, 賀来満夫, 大石和徳, 柳原克紀. 感染防止対策加算を取得している医療機関における感染制御の実態調査. 第34回日本環境感染学会総会・学術集会; 2019 Feb 22-23; 神戸.
- 8) 川筋仁史, 上野亨敏, 宮嶋友希, 青木雅子, 酒巻一平, 能登明子, 山本善裕. 先天性結核に対するNICUでの感染対策を経験して. 第44回富山県感染対策研究会; 2019 Mar 16; 富山.
- 9) 山本善裕. 「抗菌薬適正使用支援のこれから」. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋. (基調).
- 10) 山本善裕. 「AMR対策とASPの実践と課題」当院におけるAMR対策の取り組みと課題. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 11) 仁井見英樹, 東 祥嗣, 宮腰晃央, 斎藤 滋, 山本善裕, 北島 勲. 「感染症遺伝子検査をどう活用するか」新たな起炎菌迅速同定・定量技術を基盤とし、菌数を敗血症の新規バイオマーカーとする検査システムの開発. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋.
- 12) 酒巻一平. 「新専門医制度における感染症専門医の育成」主治医となる感染症専門医の育成. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋. (シンポジウム・ワークショップ パネル).

- 13) 仁井見英樹, 東 祥嗣, 山本善裕. 不完全一致配列の線状長鎖プローブを用いた新たなTm mapping法. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋.
- 14) 仁井見英樹, 山本善裕. 新規ATP測定技術による迅速な薬剤感受性試験法. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋.
- 15) 宮嶋友希, 川村隆之, 上野亨敏, 川筋仁史, 松本かおる, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. 深在性真菌感染症における(1→3) β -Dグルカン測定キットの比較検討. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋.
- 16) 田中知暁, 野村信彦, 満山順一, 岩崎博道, 大野智子, 澤村治樹, 柴田尚宏, 末松寛之, 山岡一清, 山本善裕, 山岸由佳, 三嶋廣繁. 2017年に中部地方の医療機関で分離された尿路及び腹腔内由来大腸菌の感受性サーベイランス. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋.
- 17) 川元康嗣, 賀来敬仁, 森永芳智, 赤松紀彦, 松田淳一, 小佐井康介, 大曲貴夫, 泉川公一, 山本善裕, 三嶋廣繁, 賀来満夫, 大石和徳, 柳原克紀. コリスチン耐性遺伝子MCR-1保有率の全国的な疫学調査. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋.
- 18) 川筋仁史, 川村隆之, 上野亨敏, 宮嶋友希, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. 当院における抗菌薬適正使用支援と感染症教育. 第93回日本感染症学会総会・学術講演会; 2019 Apr 4-6; 名古屋.
- 19) 山本善裕. 咳嗽診療の最前線～Beyond咳嗽と喀痰のガイドライン～「咳嗽と感染制御」. 第59回日本呼吸器学会学術講演会; 2019 Apr 12-14; 東京. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 20) 山本善裕. 「私が思うMRSA感染症診療の考え方」第67回日本化学療法学会総会; 2019 May 9-11; 東京. (基調).
- 21) 賀来敬仁, 赤松紀彦, 松田淳一, 森永芳智, 大曲貴夫, 泉川公一, 山本善裕, 三嶋廣繁, 賀来満夫, 大石和徳, 柳原克紀. 医療機関における薬剤耐性菌の現状-MRSA-. 第67回日本化学療法学会総会; 2019 May 9-11; 東京.
- 22) 賀来敬仁, 赤松紀彦, 松田淳一, 森永芳智, 大曲貴夫, 泉川公一, 山本善裕, 三嶋廣繁, 賀来満夫, 大石和徳, 柳原克紀. 医療機関における薬剤耐性菌の現状-ESBL, CRE-. 第67回日本化学療法学会総会; 2019 May 9-11; 東京.
- 23) 高野雄介, 山本善裕. リレーショナルデータベースを用いた抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の業務効率化. 第67回日本化学療法学会総会; 2019 May 9-11; 東京.
- 24) 酒巻一平, 川村隆之, 川筋仁史, 宮嶋友希, 河合暦美, 辻 泰弘, 山本善裕. 抗MRSA薬TDM支援ソフトMr. TDMの開発. 第67回日本化学療法学会総会; 2019 May 9-11; 東京.
- 25) 賀来敬仁, 森永芳智, 大曲貴夫, 泉川公一, 山本善裕, 三嶋廣繁, 賀来満夫, 大石和徳, 柳原克紀. 医療機関におけるMRSAの現状. MRSAフォーラム2019; 2019 Jul 6; 東京.
- 26) 川筋仁史, 上野亨敏, 宮嶋友希, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. MRSA菌血症診療におけるActive Consultationの有用性の検討. MRSAフォーラム2019; 2019 Jul 6; 東京.
- 27) 山本善裕. 抗MRSA薬の位置づけと使い分け「対オキサゾリジノン系派」. MRSAフォーラム2019; 2019 Jul 6; 東京. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 28) 酒巻一平. 輸入感染症診療施設委員会企画オリパラとその後に向けて輸入感染症にどう取り組むか「輸入感染症を診療できる医療機関が少ない地域で渡航感染症にどう対処するか?」. 第23回日本渡航医学会学術集会; 2019 Jul 14-15; 東京. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 29) 酒巻一平, 川筋仁史, 上野亨敏, 宮嶋友希, 青木雅子, 山本善裕. 血液体液曝露に関する歯科医師会との連携. 第45回富山県感染対策研究会; 2019 Sep 7; 富山.
- 30) 山本善裕. 感染症教育の現状と今後の展望について「感染症と医学教育～卒前から卒業後教育のシームレスな教育への提言～」. 第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 31) 酒巻一平. 「血液疾患における日和見感染症」第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松. (基調).
- 32) 酒巻一平. 新しいガイドラインをどう読み解くか「発熱性好中球減少症(FN)ガイドライン」. 第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 33) 川筋仁史, 上野亨敏, 宮嶋友希, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. MRSA菌血症診療におけるActive Consultationの有用性の検討. 第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松.
- 34) 福土路花, 酒巻一平, 伊藤和弘, 山本善裕, 岩崎博通. キノロン系抗菌薬によるサイトカイン産生抑制機序の解明. 第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松.

- 35) 兼田磨熙杜, 川筋仁史, 上野亨敏, 宮嶋友希, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. 健常成人に発症したサイトメガロウイルス胃十二指腸炎の1例. 第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松.
- 36) 宮嶋友希, 兼田磨熙杜, 上野亨敏, 川筋仁史, 松本かおる, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. 飼い猫との接触により *Pasteurella multocida* 敗血症を繰り返した一例. 第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松.
- 37) 伊藤明広, 石田 直, 館田一博, 石井良和, 山本善裕. レジオネラ肺炎診断におけるレジオネラ尿中抗原迅速診断キット「リボテスト レジオネラ」の有用性の検討. 第89回日本感染症学会西日本地方会学術集会; 2019 Nov 7-9; 浜松.
- 38) 山本善裕. 呼吸器感染症の最前線～薬剤耐性対策を含めて～. 第83回呼吸器合同北陸地方会; 2019 Nov 9-10; 黒部. (招待講演).
- 39) 川村早紀, 辻 泰弘, 尾上知佳, 中館成河, 松本宣明, 藤 秀人, 山本善裕. 機械学習と Model Based Exposure-Response 解析によるリネズリド誘発性血小板減少予測モデルの検討. 第40回日本臨床薬理学会学術総会; 2019 Dec 4-6; 東京.

◆ その他

- 1) 山本善裕. AST活動の重要性～薬剤師の先生方へのお願い～. 第21回東海地区感染制御研究会学術講演会; 2019 Jan 27; 名古屋. (招待講演)
- 2) 山本善裕. 抗菌薬適正使用と感染制御の考え方～ひとりひとりができること～. 済生会富山病院院内感染対策講習会; 2019 Feb 7; 富山. (招待講演)
- 3) 山本善裕. Antimicrobial Stewardshipに貢献できる迅速診断法とは. 第34回日本環境感染学会総会・学術集会 ランチョンセミナー; 2019 Feb 22-23; 神戸.
- 4) 山本善裕. 感染制御の重要性～ひとりひとりができること～. 浜松医科大学医学部附属病院院内感染対策講習会; 2019 Mar 7; 浜松.
- 5) 山本善裕. これからの臨床研修制度・専門医制度に向けて～医師にとって大切なこととは～. 富山県臨床研修病院連絡協議会 病院合同説明会; 2019 Mar 9; 富山.
- 6) 山本善裕. 抗菌薬適正使用と感染制御の考え方～ひとりひとりができること～. あさひ総合病院院内感染対策講習会; 2019 Mar 14; 富山.
- 7) 山本善裕. 私が想う「抗菌薬適正使用」の考え方～ASTとしての心得～. 第67回日本化学療法学会総会 ランチョンセミナー; 2019 May 9-11; 東京.
- 8) 山本善裕. 一生使える抗菌薬適正使用の考え方. 富山大学附属病院研修医イブニングセミナー; 2019 May 23; 富山.
- 9) 酒巻一平. 産婦人科指導医が知っておくべきがん薬物療法の感染管理. 第47回北陸産婦人科学会 指導医講習会; 2019 Jun 1; 富山.
- 10) 山本善裕. 感染制御の重要性～ひとりひとりができること～. 感染防止対策地域連携セミナー 重工記念長崎病院; 2019 Jun 12; 長崎.
- 11) 山本善裕. 結核・非結核性抗酸菌症を考える～潜在性結核感染症を含めて～. 第三回障害者医療・慢性医療を考える会; 2019 Jun 18; 富山.
- 12) 酒巻一平. 血液体液曝露に関する歯科医師会との連携. 国公立大学病院感染対策協議会2019年度感染管理担当ブロック別研修会(東海・北陸地区); 2019 Jun 27-28; 福井.
- 13) 山本善裕. 感染制御の重要性～ひとりひとりができること～. 長崎大学病院院内感染対策講習会; 2019 Aug 23; 長崎.
- 14) 酒巻一平. FNガイドライン. 日本感染症学会主催感染症ベーシックスクールin東海・北陸; 2019; 2019 Sep 1; 名古屋.
- 15) 酒巻一平. 経路別感染対策の実際. 第58回富山大学附属病院地域医療連携研修会; 2019 Sep 5; 富山.
- 16) 山本善裕. 抗菌薬適正使用の考え方～抗インフルエンザ薬も含めて～. 第58回富山大学附属病院地域医療連携研修会; 2019 Sep 5; 富山.
- 17) 酒巻一平. JCCケースカンファレンス北陸チーム大動脈疾患 コメンテーター. 第67回日本心臓病学会学術集会; 2019 Sep 13-15; 名古屋.
- 18) 酒巻一平. 耐性菌を生み出さないための抗菌薬適正使用. 福井大学医学部附属病院感染対策研修会; 2019 Sep 30; 福井.
- 19) 山本善裕. 感染対策の必要性と地域連携. 第17期富山県院内感染対策担当者養成研修会; 2019 Oct 5; 富山.

- 20) 酒巻一平. 経路別感染対策. かみいち総合病院感染対策研修会 ; 2019 Oct 10 ; 上市.
- 21) 酒巻一平. 抗菌薬適正使用. かみいち総合病院感染対策研修会 ; 2019 Oct 24 ; 上市.
- 22) 山本善裕. Antimicrobial Stewardshipに活かす迅速診断法とは. 第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会 ランチョンセミナー ; 2019 Nov 8 ; 浜松.
- 23) 山本善裕. 症例から学ぶ感染症学. 金沢感染症学術セミナー ; 2019 Nov 15 ; 金沢.
- 24) 酒巻一平. アクションプランと抗菌薬適正使用. 第17期富山県院内感染対策担当者養成研修会;2019 Nov 16;富山.
- 25) 酒巻一平. 感染制御と抗菌薬適正使用. 富山大学附属病院看護研修 ; 2019 Nov 27 ; 富山.
- 26) 酒巻一平. 正しい診療録の書き方. 富山大学附属病院研修医イブニングセミナー ; 2019 Dec 3 ; 富山.
- 27) 酒巻一平. 耐性菌の感染制御と抗菌薬適正使用. 射水市民病院院内感染対策研修会 ; 2019 Dec 10 ; 射水.
- 28) 山本善裕. 感染制御と抗菌薬適正使用. 第3回院内感染対策講習会 ; 2019 Dec 11 ; 富山.